



何が問題？海のプラスチックごみ

ニュース

教えて

⑤



インドネシアの海岸にたまつたプラスチックごみ=2018年4月（ロイター=共同）

食べ物の容器やレジ袋などに使われ、生活に欠かせないプラスチック。ごみになつたプラスチックが、世界の海で大変な問題を引き起こしているつて、知つてた？

プラスチックを魚や水鳥などが餌と間違えて食べ、



（プラスチックごみ）は海に流れ着くと細かく碎かれ、5ミリ以下のプラスチックになります。とても小さなマイクロプラスチックになり、

分解されず自然に影響



買い物にマイバスケットやマイバッグを持参するのも誰でもできる対策=仙台市若林区、みやぎ生協新寺店

個人でできることもあります。仙台市廃棄物企画課の乗永規行課長は、「リデュース（減量）、リサイクル（資源として再利用）が基本で、加えてリフューズ（不要な物

）」と強調します。乗永課長は「何度も使う、リサイクル（資源として再利用）が基本で、加えてリフューズ（不要な物

）」と強調します。乗永課長は「1人当たりのプラごみ排出量では、日本は米国に次いで世界2位。国は使い捨てプラスチックを減らすための計画を立てましたが、対策は遅れています。



乗永課長は「ポイ捨てしない、沿岸部の清掃に参加するなどの小さな取り組みも、積み重なれば大きな力になる。皆さんも心がけてほしい」と力を込めました。

商品を入れるレジ袋は「要りません」と店に断る、プラスチック製ストローを使わない、買い物をする時は再利用できる物を選ぶなど、暮らしの中で使い捨てプラスチックを利用しないようになります。

商品を入れるレジ袋は「要りません」と店に断る、プラスチック製ストローを使わない、買い物をする時は再利用できる物を選ぶなど、暮らしの中で使い捨てプラスチックを利用しないようになります。

商品を入れるレジ袋は「要りません」と店に断る、プラスチック製ストローを使わない、買い物をする時は再利用できる物を選ぶなど、暮らしの中で使い捨てプラスチックを利用しないようになります。

今週の注目ニュース

◇16日（水） 車いすラグビー「ワールドチャレンジ」（～20日、東京）

来年の東京パラリンピックを前に、世界の強豪8カ国が、東京体育館で戦うんだ。日本は第1戦でブラジルと対決するよ。

◇17日（木） プロ野球ドラフト会議（東京）
高校野球で球速163キロをマークした岩手・大船渡高の佐々木朗希投手が、今年の目玉選手。複数の球団が指名する見通しなので、どのチームが交渉権を獲得するのか注目だね。